

昭 10  
A  
463

獨逸に於ける鐵道運賃諮問機關

鐵道省運輸局

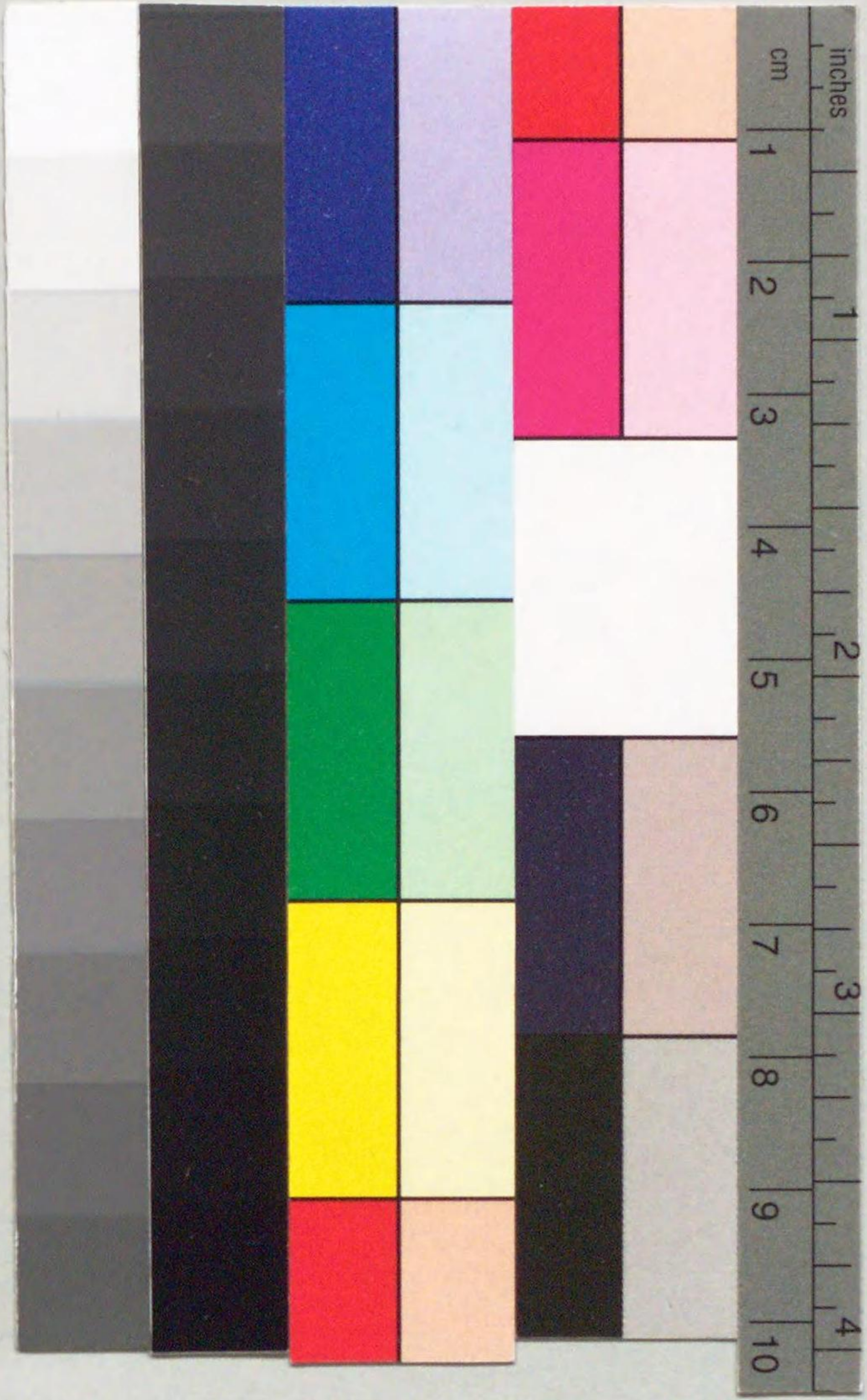
昭和八年二月

(以印刷代謄寫)

昭 10  
A  
463

立憲民政黨  
政務調查館

10. 7. 8



昭 10  
A  
463

はしがき

本冊子は獨逸に於ける鐵道運賃諮問機關に關し曩に伯林事務所福川事務官に調査方を依頼し各種參考資料の送付を受けたるが右の内最も重要と認めらるゝ概説竝に關係法令を當課に於て翻譯し上梓せるものなり。

昭和八年二月

國  
際  
課

目次

概説—鐵道運賃の成立—……………一

獨逸鐵道會社に關する法律（獨逸國有鐵道法）拔萃……………七

常設賃率委員會定款……………一三

獨逸國憲法第九十三條……………二九

獨逸國有鐵道の爲めの審査會に關する命令……………三一

ベルリン地方鐵道審査會業務規程……………四九

## 獨逸國に於ける鐵道運賃諮問機關

### 概 説

#### 鐵道運賃の成立

一九三〇年三月十三日制定の獨逸國有鐵道法は其の第廿七條に於て獨逸鐵道會社の組織を定むるに當り特に賃率の範圍及び財政の範圍に於て統一的交通施設たるの性質を保持すべき旨を規定せり。依て賃率の構成又は單に例外運賃を制定する場合も局部分權に依り行はるゝとせばそれは統一の原則に悖ることとなるべし。獨逸國の如き政治並に經濟の事情の下に於て運賃政策の處理は獨逸鐵道會社管理本部に依りてのみ行ひ得るなり。

右に關聯する業務の遂行は國有鐵道管理本部に在りては運輸及賃率課 (Verkehrs- und Tarif-  
abteilung) に依りて行はれ各鐵道局に於ては賃率部長 (Tarifdezernent) の權限に屬

す。バイエルン總管理局内に於ける運賃關係はミュンヘンの中央賃率局 (Zentral-Tarifamt) 之を處理す。

純然たる理論上よりすれば——何人と雖も獨逸鐵道會社に對し運賃改正の申請を爲す權利あり。然れどもかゝる「個人的申請」の提出せらるゝは比較的例外の場合のみなるべし。改正の申請は利害關係者より其の職業組合又は同業組合に提出するか或は關係當事者の組織せる部署に提出するを常とす。此種組織の數は商工業の著るしく發達せる獨逸に於ては勿論數百を算するも茲には單に労働者組合、手工業者會議所、農業會議所、工業會議所、商業會議所及各部門の官吏聯合等に就き記述するに留む。之等組織の殆んど全部は更に大なる聯合を組成す。此種組織の一は伯林に於ける商工業會議 (Industrie-und Handelstag) にして獨逸に於ける各商工業會議所の最高組織なり。之に類似し狹義に於ける工業のみを含む組織は獨逸國工業聯合 (Reichsverband der deutschen Industrie) にして此外、伯林に於ける獨逸國交通業聯合 (Reichsverband des deutschen Verkehrsgewerbes) あり。此等の申請を受理せる組織が其

の業務遂行に當りては鐵道賃率改正の申請に對し當該部門の専門大家を招集して慎重なる審査を行ふ。尙特記すべきは諮問機關としてツーリストビユーロー組織及び私設交通業の代表部署も亦尠なからざる役割を爲すことなり。申請作成上信賴すべき材料は獨逸國統計局、支分邦及都市の統計局より提供す。此等の報告は連続的に行はるゝ記録 (カードシステム制度) に基き右申請關係の交通情勢を精確に觀察することを得せしむ。業務手續に關する諸規則を含む規程集は之を入手し得ざりしも恐らく此種印刷物はあらざるやも知れず。可及的實情を調査したる上決定せる申請は當該地方所屬鐵道局の手を経て獨逸鐵道常設賃率委員會 (Ständige Tarif-Kommission der deutschen Eisenbahnverwaltungen) 【伯林鐵道局之を代表す】に提出せらる。此の申請の傳達は直接行はるゝか又は間接に此種の申請を蒐集し審査する交通利害關係者委員會を通じて行はる。申請は此二様の方法に依り關係事項が常設賃率委員會の次回會議の議事日程に上程せらるゝ爲め同時に常設賃率委員會に提出す。此綜合組織 (獨逸鐵道常設賃率委員會及交通利害關係者委員會)、其の目的及管轄事項、業務處理方法並に決議の採擇に關し

ては定款に詳細説明せり。特に重要なるは第三條に掲ぐる貨物賃率關係事項に付意見を徴する爲め交通利害關係者を以て特別の委員會を組成し本委員會も又表決に參與することを得る點なり（第九條）。

以上、鐵道賃率改正に至る迄の經過の概要を記述したるが常設賃率委員會が大なる權能を附與せられおるにも不拘、そは單に鐵道全體の管理統制の一機關に過ぎず結局獨逸國有鐵道及交通省が凡ての決議に對して責任ある點に注意を要す。常設賃率委員會定款第十九條は此點に關して更に特に規定す。即ち委員會の凡ての決議は監督官廳（即ち國有鐵道及交通省）の同意を妨ぐることなく實行せらるゝものにして此點より國有鐵道は明らかに委員會の決議に服従する義務なき事を知るべし。即ち國有鐵道は決議を否定し又は再審査を命ずる事を得。凡て決議は何等異議の申立なき場合に於てのみ拘束力を有す。

獨逸鐵道會社は次の事項に關しては政府の認可を要す。

鐵道運送規程施行細則改正、等級及附帶料金並一般賃率規則及普通運賃の改正、國際聯絡運

賃の實施及改正並廢止、止例外運賃の實施及改正並廢止、其の他の運賃上の特典の變更比較的一般公共の利益に關係少なき場合政府は此種の申請に對しては原則として認可せず。但し次に掲ぐるものは何時にても廢止することを條件として暫定的に施行す。

- 一、獨逸國有鐵道の組織に依り鐵道局又はミュンヘンの運賃局若はバイエルン總管理局の獨立せる規定に依る事を委任されたる賃率上の措置
- 二、國有鐵道收入を毎年二百萬ライヒスマルク以上減少せざる範圍に於て一般に重要ならざるもの又は大なる影響を及ぼさざる運賃低減及其他交通上の便益
- 三、他國の交通路との競争ある場合、國內の經濟關係者の不利を醸さざるものと認めらるゝ賃率上の措置

決議事項は當該賃率を官報に發表し一定の異議申立期間を経過したる後に實施す。

常設賃率委員會の制定せる決議及賃率改正に關し行はるゝ手續及盡力が一般公共の福祉に適合するや否やを監視する爲め政府には地方鐵道審査會（Landeseisenbahnräte）及獨逸國鐵

道審査會 (Reichseisenbahnrat) を諮問機關として隸屬せしむ。

一九一九年八月十一日の獨逸國憲法第九十三條に基き審査會——地方鐵道審査會及獨逸國鐵道審査會——に關する命令發布せられ居れり。此の附録として添付せられたるベルリン及ステツチン鐵道局管内の爲めに選任せられたるベルリン地方鐵道審査會の業務規程には招集、審議及表決等に關し詳細説明せり。他の地方鐵道審査會に對しても同一形式の業務規程發布せられ居れり。獨逸國鐵道審査會に就ても同一内容を有する業務規程あるも此關係の印刷物は入手し得ざりき。

凡ての利害關係者、個人、組合及團體は賃率上の諸規則改正に關し獨逸國議會 (Reichstag) に請願を爲すことを得。議會は此種の請願に對してはあらゆる交通關係即ち鐵道、郵便、電信、水運、自動車等を處理する交通委員會 (Verkehrsausschuss) に審査せしめ委員會は専門的意見書を交通大臣に提出す。賃率改正に關し議會は何等の權能を有せず即ちかかる處理は獨逸國有鐵道法の定むる所に牴觸すべきが故なり。

### 獨逸鐵道會社ニ關スル法律 (獨逸國有鐵道法) 拔萃

#### 第一條 會社ノ設立

獨逸國ハ獨逸國有鐵道ノ經營ノタメ一ノ會社ヲ本法ニ依リ設立ス、本會社ハ本法ノ規定及本法附屬ノ會社定款ニ從ヒ獨逸國ニ代リ獨逸國有鐵道ヲ管理スベシ

#### 第二條 業務ノ執行

本會社ハ獨逸ノ國民經濟ノ利益ヲ確保シ商事的原則ニ從ヒテ其經營ヲ爲スベシ

#### 第九條 經營

(一) 本會社ハ獨逸國有鐵道ノ經營ヲ保障シ及交通ノ要求竝ニ鐵道技術ノ進歩ニ應ジ獨逸國有鐵道ノ設備ヲ車輛及其他ノ附屬物件ト共ニ自己ノ費用ヲ以テ良好ニ維持シ、改良シ且發達セシムルノ義務ヲ有ス

(二) 右原則及他ノ法規ノ留保ノ下ニ竝ニ獨逸國ノ監督權 (第三十一條以下參照) ニ依リテ

定メラレタル範圍内ニ於テ本會社ハ自己ノ責任ノ下ニ經營ヲ爲スノ權利ヲ有ス  
第十八條 機關

本會社ノ機關ハ監理會及理事會トス其權限ハ本會社定款ニ之ヲ規定ス  
第二十七條 企業ノ統一

本會社ノ組織ヲ定ムルニ當リテハ特ニ賃率及財政ノ範圍ニ於テ本企業ノ統一的交通施設タル  
ノ性質ヲ保持スルコトヲ要ス

第三十一條 獨逸國政府ノ監督權

獨逸國政府ハ本會社ニ對シ左記ヲ留保ス

(一) 獨逸國有鐵道ガ法律ニ依リ及交通竝ニ獨逸國民經濟ノ必要ニ應ジテ且會社ノ業務執行  
ニ關シ本法及本會社定款ノ規定ヨリ生ズル特別ノ權利及義務尊重ノ下ニ管理セララルコ  
トニ關スル監督

(二) 獨逸國有鐵道竝ニ其一切ノ設備及車輛ガ運輸上安全ナル狀態ニ於テ維持セララルコト

及運輸業務ガ満足ニ行ハルルコトニ關スル監督

(三) 左記ヲ認許スルコト

(イ) 獨逸國有鐵道ノ區間又ハ主要驛ノ經營ノ繼續的中止

本會社ハ大工場ヲ閉鎖セントスルトキハ其旨ヲ獨逸國政府ニ對シ六箇月前ニ通知スル  
コトヲ要ス

(ロ) 技術上ノ設備ノ一般的且根本的ノ更新又ハ變更特ニ電氣運轉設備ノ擴張若ハ縮少及  
保安設備ノ方式ノ變更但シ施工ニ關スル技術的細目ハ專ラ本會社之ヲ定ム

(四) 他ノ企業ノ創設若ハ取得又ハ他ノ企業ヘノ參加ヲ認許スルコト

(五) 第三十三條ニ依ル賃率ノ決定ニ參加スルコト

(六) 第三十五條ニ依ル旅客運輸ノ時刻表ノ作成ニ參加スルコト

(七) 現在ノ客車等級ノ何レカノ廢止ヲ認許スルコト

(八) 非常運轉ヲ確保スルタメ執ララルル措置ノ監視



第三十三條 賃 率

(一) 本會社ハ其設立ノ日ヨリ其當日ニ於テ現行ノ賃率ヲ適用スベシ爾後ニ於テハ右ノ賃率ハ以下ノ規定ニ依リテ之ヲ變更スルコトヲ得本會社ハ國邦契約ニ於ケル賃率ニ關スル規定ヲ遵守スベシ

(二) 鐵道運送規程ノ施行規則ノ改正、普通賃率及一般賃率規則、貨物等級表及附帶料金ノ改正竝ニ國際賃率及例外賃率竝ニ其他ノ一切ノ特惠賃率ノ實施改正及廢止ニハ獨逸國政府ノ認許ヲ要ス

(三) 本會社ガ其申請後二十日以内ニ鐵道監督ノ權限ヲ有スル獨逸國大臣ヨリ回答ヲ受領セザルトキハ認許ハ與ヘラレタルモノト看做サル一切ノ場合ニ於テ獨逸國政府ハ本會社ノ提出セル賃率案ニ對シ最終的決定ヲ能フ限り短期間内ニ與フベシ六箇月以内ニ何等ノ最終的決定ナキカ又ハ認許ガ全部又ハ一部分拒否セラレタルトキハ本會社ハ獨逸國有鐵道裁判所(第四十四條)ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得右ノ場合ニ於テハ從來ノ賃率ハ獨逸國

有鐵道裁判所ノ決定アル迄引續キ有效ナルモノトス

(四) 獨逸國政府ハ公益上價值少キ賃率上ノ措置ニ付テハ認許ヲ豫メ受ケシムルコトヲ要セズ右ノ場合ニ於テモ賃率ノ變更ニ付テハ遲滯ナク獨逸國政府ニ通告スベシ

(五) 獨逸國政府ハ其ノ必要ト認ムル賃率ノ變更ヲ要求スルコトヲ得獨逸國政府ト本會社トノ間ニ意見ノ相違アルトキハ獨逸國有鐵道裁判所(第四十四條)之ヲ決定ス

第四十四條 獨逸國有鐵道裁判所

(一) 本法及本會社定款ノ規定ノ解釋ニ關スル又ハ本法若ハ定款ニ依ル措置殊ニ賃率事項ニ付テノ措置ニ關スル政府ト本會社トノ間ノ紛爭ハ一ノ特別裁判所 獨逸國有鐵道裁判所ノ決定ニ之ヲ付ス

(二) 獨逸國有鐵道裁判所ハ獨逸國行政裁判所ガ設立セラルルト同時ニ右行政裁判所内ニ之ヲ構成スベシ右鐵道裁判所ハ獨逸國行政裁判所ノ所長ニ依リ一回限り指定セラルル右行政裁判所ノ一ノ部長及部員ヨリ成ル賃率事項ニ關スル紛爭ノ場合ニハ更ニ二名ノ部

員ヲ追加スベク内一名ハ獨逸國政府ノ提議ニ依リ又他ノ一名ハ本會社ノ提議ニ依リ其ノ都度行政裁判所ノ所長之ヲ任命ス獨逸國行政裁判所ノ設置ニ至ル迄ハ獨逸國有鐵道裁判所ハ獨逸國大審院ニ之ヲ置クベク且三名ノ常任裁判官及各場合ニ付更ニ任命セラルル二名ノ裁判官ヨリ成ルベシ常任裁判官ハ二名ノ豫備裁判官ト共ニ獨逸國國法裁判所ノ所長官之ヲ任命スベク且公法ニ關シ特別ノ經驗ヲ有スル裁判官タルベシ常任裁判官ノ一名ハ裁判長ニ又他ノ一名ハ裁判長代理ニ獨逸國國法裁判所ノ所長官之ヲ任命ス各場合ニ付任命セラルベキ二名ノ裁判官ノ内一名ハ政府ノ提議ニ依リ又他ノ一名ハ本會社ノ提議ニ依リ獨逸國國法裁判所ノ所長之ヲ任命ス獨逸國有鐵道裁判所ニ付テハ獨逸國國法裁判所ニ關スル法律(千九百二十一年ノ獨逸國法令公報第九百五頁)ノ第十九條第二項及第三項、第二十條乃至第二十二條、第二十四條乃至第二十六條、第二十八條第一項、第二十九條第一項及第二項第一號並ニ第三十條ノ規定ヲ準用ス手續ニ關スル詳細ノ規定ハ獨逸國行政裁判所ノ所長ニ依リ又右行政裁判所ノ設置ニ至ル迄ハ獨逸國國法裁判所ノ所長官ニ依リ制定セラレ且獨逸國法令公報ニ於テ公布セラルル事務規則ニ依リテ之ヲ定ム右規則ニ於テハ獨逸國有鐵道裁判所ガ能フ限り速ニ決定ヲ與フベキコトヲ定ムベシ

### 獨逸鐵道常設賃率委員會定款

一九二九年四月一日ヨリ實施

#### 第一條 常設賃率委員會

※附錄ニ掲グル獨逸鐵道運輸機關(以下省略シテ「加入運輸機關」ト稱ス)ハ獨逸鐵道旅客、手荷物、貨物及生動物賃率規則改善ノ爲メニ「獨逸鐵道常設賃率委員會」(以下省略シテ

「常設賃率委員會」(Ständige Tarifkommission)ト稱ス)ト名付クル一委員會ヲ設置ス

※(註) 本附錄ハ常設賃率委員會ニ加入セル獨逸諸鐵道會社(六十八、總延長五七、九八四・〇六杆)ノ名稱及延長杆ヲ掲ゲタルモノナリ(譯省略)

#### 第二條 構成

(一) 常設賃率委員會ヲ構成スル委員左ノ如シ

旅客及手荷物賃率規則(第五編——小荷物運送——ヲ除ク)ニ關シテハ九名ノ委員、内八名ハ獨逸鐵道會社ヨリ、他ノ一名ハ獨逸ノ私設鐵道ヨリ任命セラル

貨物賃率規則、旅客及手荷物賃率規則第五編並生動物賃率規則（以下省略シテ「貨物賃率規則」ト稱ス）ニ關シテ十二名ノ委員、内十名ハ獨逸鐵道會社ヨリ、他ノ二名ハ獨逸ノ私設鐵道ヨリ任命セラル

(11) 獨逸鐵道會社管理本部ハ審議ニ際シ監理人 (Kommissare) ヲ以テ會社ヲ代表セシムルコトヲ得

第三條 交通利害關係者委員會

(一) 常設賃率委員會ハ貨物賃率規則關係事項ニ付キ意見ヲ徵スル爲メ交通利害關係者委員會（以下省略シテ「交通委員會」(Verkehrsausschuss) ト稱ス）ヲ併屬セシム、其ノ構成委員左ノ如シ  
農業及林業代表者六名、内五名ハ獨逸國農業審議會ヨリ、他ノ一名ハ獨逸國林業審議會ヨリ任命セラル  
工業代表者六名

商業代表者五名

以上孰レモ獨逸商工業會議ヨリ任命セラル

獨逸國內水運業代表者二名、獨逸國內水運委員會ヨリ任命セルモノ

(二) 交通委員會ノ各委員ニ對シテ各代理人ヲ任命ス、委員及其ノ代理人ガ同時ニ支障アル場合ハ交通委員會ハ他ノ代理人ヲ任命スルコトヲ得

(三) 交通委員會ハ委員中ヨリ一名ノ會長及二名ノ副會長ヲ選任ス、交通委員會ハ其ノ内部的業務執行ヲ獨立シテ規律ス

(四) 交通委員會ノ委員及其ノ代理人ハ六年ヲ任期トシテ任命セラル、補缺選任ハ前任者ノ任期ノ殘部ニ對シテ行ハル

(五) 交通委員會ノ委員ハ委託又ハ指示ニ拘束セラルルコトナシ、各委員ハ全般ノ經濟上ノ利益ヲ代表スベキモノトス

(六) 交通委員會ノ委員ハ會議ニ參列スル爲メ會議開催前八日目ヨリ終了後八日迄ノ有效期

間アル獨逸國有鐵道無賃乘車證ヲ受ク

#### 第四條 主務機關

伯林鐵道局（主務管理局）ハ常設賃率委員會ノ事務ヲ管理シ常設賃率委員會及交通委員會ノ總會（*Gemeinschaftliche Sitzungen*）兩委員會ノ共同會議）ニ於ケル主務機關トス

#### 第五條 管轄事項

- (一) 常設賃率委員會ノ管轄事項ニ屬スルモノ左ノ如シ
  - 一 鐵道運送規程一般施行細則
  - 二 一般賃率規則
  - 三 一般貨物等級
  - 四 一般附帶料金規則及其ノ料金率
  - 五 貨物賃率規則制度ノ改善、但シ賃率及例外賃率規則ヲ除ク
- (二) 主務管理局ハ常設賃率委員會ノ管轄ニ屬セザル事項ヲ常設賃率委員會ヲシテ討究セシ

メ又其ノ意見ヲ徵スルコトヲ得

### 業務執行

#### 第六條 申請及報告

- (一) 總會ニ於テハ主務管理局ニ提出セラレタル申請ヲ審議ス
- (二) 一定ノ申請ニ至ラザル發議モ主務管理局ノ同意ヲ得テ討議ニ附スルコトヲ得、業務關係上ニ於テハ右ノ發議モ申請ト同様ニ處理セララル
- (三) 申請ヲ爲ス權利アルモノ左ノ如シ
  - (イ) 加入運輸機關、獨逸鐵道會社ニ在リテハ各鐵道局——但シライン右岸バイエルン地方ノ鐵道局ヲ除ク——バイエルン總管理局ノ中央賃率局及中央運輸局並ニ國有鐵道中央局

- (ロ) 交通委員會ノ協力ヲ要スル事項ニ付テハ交通委員會
- (四) 申請書ニハ理由ヲ附スコトヲ要ス

- (五) 主務管理局ハ申請書ノ寫ヲ常設賃率委員會ノ委員ニ傳達ス、貨物賃率規則ニ關スル申請ニ付テハ國有鐵道中央局及交通委員會ニモ申請書ノ寫ヲ配付ス、主務管理局ハ同時ニ常設賃率委員會ノ一名又ハ數名ノ委員ニ各申請ニ關シ報告方ヲ委任ス
- (六) 報告ハ常設賃率委員會ノ委員ニ之ヲ送付ス、貨物賃率規則ニ關スル事項ニ付テハ國有鐵道中央局及交通委員會ニモ報告ヲ送付ス、申請ヲ提出スル機關又ハ國有鐵道局ガ常設賃率委員會ニ加入セザル場合モ報告ノ寫ヲ受ク

第七條 會 議

- (一) 通常總會ハ普通毎年三月、六月、九月及十二月ノ四回開催ス
- (二) 臨時總會開催方ハ通常總會ニ於テ決定スルコトヲ得
- (三) 緊急ヲ要スル場合主務管理局ハ——貨物賃率規則ニ關スル事項ハ交通委員會々長ノ同意ヲ得テ——臨時會議ヲ召集スルコトヲ得
- (四) 通常及臨時會議ノ時期及場所ハ會議ニ於テ定ム、第三項ノ場合ニ於テハ主務管理局ハ

交通委員會々長ノ同意ヲ得テ時期及場所ヲ定ム

第八條 議事日程

- (一) 議事日程ニハ會議開催ノ遅クトモ十四日前ニ主務管理局ニ報告ヲ提出セル申請ヲ上程ス

- (二) 前項期日ヨリ遅レテ到達セル報告ハ關係當事者ヨリ異議ノ申立ナキ場合之ヲ審議スルコトヲ得

- (三) 主務管理局ハ會議開催ノ遅クトモ十二日前ニ議事日程ヲ送達ス

第九條 陳述及表決

- (一) 會議ニ於テハ常設賃率委員會ノ報告者先ヅ報告ヲ爲シ、次ニ交通委員會ノ報告者之ヲ爲ス、討議ハ報告ノ終了シタル後行ハル
- (二) 決議ハ常設賃率委員會ノ委員中ノ少ナクトモ六名、貨物賃率ニ關スルモノハ此ノ外、交通委員會ノ委員中ノ少ナクトモ七名出席セル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

- (三) 常設賃率委員會及交通委員會ノ委員ハ各一票ノ表決權ヲ有ス、表決ノ際代理ハ之ヲ許サズ
- (四) 常設賃率委員會及交通委員會ノ決議ハ兩委員會ノ各々ニ付キ且出席ノ表決權所有者ノ多數決ニ依リ之ヲ爲ス、可否同數ナルトキハ申請ハ却下セラレタルモノト看做ス(緊急決議ニ關シテハ第十七條參照)

- (五) 總會ニ於テハ先ヅ交通委員會次ニ常設賃率委員會決定ヲ爲ス

第十條 小委員會

- (一) 總會審議ノ準備ノ爲メ小委員會ヲ設置スルコトヲ得
- (二) 小委員會ノ設置、構成及小委員會ニ附託スベキ事項ニ關シテハ總會ニ於テ決定ス、一般ニ各小委員會ニハ私設鐵道ノ代表者一名ヲ配屬セシムベキモノトス
- (三) 小委員會ニ於テハ常設賃率委員會ノ主務管理局ヲ以テ主務機關トス、主務管理局ガ小委員會ノ委員ナラザルトキハ小委員會ハ會長ヲ選任ス、小委員會ハ自己ノ裁量ニ依リ業

務手續ヲ規律ス

- (四) 緊急ヲ要スル場合ニハ常設賃率委員會ノ主務管理局ハ——貨物賃率ニ關スルモノハ交通委員會々長ノ同意ヲ得——小委員會ヲ設置シ又ハ既設小委員會ニ關係事項ヲ直接附託スルコトヲ得

- (五) 小委員會ニ於ケル表決ハ常設賃率委員會及交通委員會ノ委員ノ別ナク出席委員ノ單純ナル多數決ニ依ル

- (六) 賃率規則ノ解釋ニ關スル小委員會ニ關シテハ第二十條參照

第十一條 第三者ノ參加

- (一) 貨物賃率關係事項ノ審議ニハ國有鐵道中央局表決權ヲ有セズシテ之ニ參加ス
- (二) 交通委員會事務管理者ハ總會ニ列席スルコトヲ得、該事務管理者ハ審議及表決ニ參加セズ
- (三) 主務管理局ハ常設賃率委員會ニ加入セザル國有鐵道局又ハ私設鐵道ガ特別ノ關係ヲ有

シ又ハ特ニ事情ニ通ズル一定ノ問題審議ノ場合表決權ヲ有セシメズ之ヲ招聘スルコトヲ得

(四) 小委員會々長ハ小委員會ニ加入セザル國有鐵道局又ハ私設鐵道並ニ交通委員會ノ委員若ハ其ノ代理人ニシテ各問題ニ付キ特ニ精通シ又ハ經驗アル場合表決權ヲ附與シ小委員會ニ招聘スルコトヲ得

(五) 總會(第七條)ニハ左ノ運輸機關ハ表決權ヲ有セズシテ參加ス

瑞西聯邦鐵道總管理局

レーチツシユ鐵道管理局

ベルン・アルプス鐵道會社(ベルン・レーツチベルグ・シムプロン) 管理部

第十二條 專家招聘

(一) 總會ノ議事日程ニ上程セル問題審議ノ爲メニスル經濟專家ノ招聘ニ付テハ總會ニ於テ之ヲ決定スルカ又ハ交通委員會々長ノ同意ヲ得テ主務管理局之ヲ決定スルコトヲ得

(二) 招聘スベキ專家ノ人選ハ報告者ノ意見ヲ徵シタル上交通委員會々長ノ同意ヲ得テ主

務管理局ニ委任セラル

(三) 小委員會ハ自己ノ裁量ニ依リ專用家招聘ニ關シ規律ス

第十三條 議事錄

(一) 總會及小委員會々議ニ關シテハ報告、附屬書、議事及決議ヲ含ム議事錄ヲ作成ス、主務管理局ハ之ニ必要ナル書記ヲ會議ニ招集スルコトヲ要ス

(二) 議事錄ノ草案ハ報告ヲ記錄セズ會議參加者ニ送達セラル、參加者ハ自己ノ陳述ノ記錄ヲ檢閲シ訂正ヲ申込ムコトヲ得、主務管理局ヨリ草案ノ送達セラレタル後二週間以内ニ異議ノ申立ナキトキハ草案ハ可決セラレタルモノト看做ス、本期間ノ終期ハ主務管理局ヨリ添付書狀ニ記載スルコトヲ要ス

(三) 議事錄ノ決定ハ主務管理局ノ任務トス

(四) 議事錄ハ各加入運輸機關及交通委員會ニ送付ス、議事錄ハ他ノ利害關係者ニモ之ヲ發賣頒布ス

第十四條 決議ノ拘束力、異議申立

常設賃率委員會ノ決議ハ有效ナル異議ノ申立ナキ場合ハ加入運輸機關全部ニ對シ拘束力ヲ有ス

第十五條

(一) 異議ガ有效ナルガ爲メニハ之カ申立ヲ爲ス運輸機關ノ線路延長ノ合計ガ少ナクトモ八百斤ナルコトヲ要ス

(二) 異議ハ書面又ハ電報ヲ以テ主務管理局ニ申告スベシ、異議ニハ其ノ反駁スル決議ヲ明示シ、且議事録ガ主務管理局ヨリ送付セラレタル後三週間以内ニ之ヲ申立ツルコトヲ要ス  
本期間ノ終期ハ主務管理局之ヲ議事録送附ノ際通告スルコトヲ要ス——緊急ヲ要スル決議ニ付テハ第十七條第三項參照——

(三) 異議ノ申立ハ之ヲ撤回スルコトヲ得

第十六條 異議申立ノ效力

(一) 有效ナル異議ノ申立アリタルトキハ(第十五條第一項及第二項) 主務管理局ハ關係事項ヲ再度ノ審議竝ニ決議ニ附ス

(二) 異議ノ申立ヲ爲ス運輸機關ノ線路延長ガ加入運輸機關全部ノ線路延長ノ半數以上ナルトキハ當該運輸機關ハ決議ヲ遵守セザル旨ヲ主張スルコトヲ得、右ノ場合ニ於テハ再度ノ審議竝ニ決議ハ行ハレズ

(三) 第十五條第一項ニ掲グル最低線路延長ヲ有スル運輸機關ヨリ有效ナル異議ノ申立アリタルトキハ他運輸機關ハ再審議ノ開始前ニ於テ該異議ノ申立ニ參加スルコトヲ得、右ノ場合ニ於テハ第二項ヲ準用ス

(四) 再審議ヲ經テ爲サレタル常設賃率委員會ノ決議ハ拘束力ヲ有ス

第十七條 緊急事項

(一) 常設賃率委員會ハ三分ノ二ノ過半數ニ依ル決議ヲ三分ノ二ノ多數決ヲ以テ緊急事項トシテ發表スルコトヲ得



(二) 緊急事項トシテ發表セラレタル決議ノ本文ハ主務管理局之ヲ會議終了後直チニ集録シ加入運輸機關全部ニ報告ス

(三) 緊急決議ニ對スル異議(第十五條)ハ緊急決議ノ集録ガ主務管理局ヨリ發送セラレタル後三週間以内ニ限り申立ツルコトヲ得、其他ノ事項ニ付テハ普通決議ノ場合ト同様ノ規定ヲ適用ス

#### 第十八條 文書ニ依ル手續

(一) 主務管理局ノ裁量ニ依リ簡單ナル賃率改正ノ申請ハ總會ニ於テ審議スルコトナク加入運輸機關ノ間ニ於テ文書ニ依ル方法ニ依リ表決ニ附スルコトヲ得

(二) 主務管理局ハ申請書ノ寫ヲ加入運輸機關全部ニ傳達ス、申請ガ貨物賃率ニ關スル場合ハ國有鐵道中央局及交通委員會ニモ之ヲ傳達ス、報告方ハ之ヲ省略スルコトヲ得

(三) 申請ハ主務管理局ヨリ指定セル期限迄ニ有效ナル異議ノ申立ナキトキハ採擇セラレタルモノト看做ス、異議申立ノ期間ハ少ナクトモ十四日トス

(四) 異議ハ加入運輸機關ノ一ノミヨリ又ハ交通委員會ヨリ申立テラレタルトキト雖モ有效トス

(五) 第十五條第三項ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

(六) 有效ナル異議ノ申立アリタルトキハ當該事項ヲ常設賃率委員會ノ總會ノ討議ニ附ス

#### 第十九條 決議ノ實行

拘束力ヲ生ジタル常設賃率委員會ノ決議ハ主務管理局ノ公表スル期日ヨリ全部ノ加入運輸機關之ヲ實行スルモノトス但シ監督官廳ノ同意ヲ妨ゲズ

#### 第二十條 賃率規則ノ解釋ニ關スル常設小委員會

(一) 主務管理局ハ常設賃率委員會中ヨリ三箇年ノ任期ヲ以テ選任セラレタル他ノ二名ノ委員ト共ニ賃率規則ノ解釋ニ關スル常設小委員會ヲ組成ス

(二) 小委員會ハ常設賃率委員會ノ管轄事項(第五條)内ニ於ケル賃率規則ノ解釋ニ關シ決定ヲ爲ス

- (三) 小委員會ノ決定ヲ要請スル申請ハ主務管理局ニ提出スベシ
- (四) 小委員會ニ於テハ口頭ニテ審議ス、小委員會ハ問題ニ關シ特ニ關係ヲ有スル運輸機關又ハ國有鐵道局ヲ表決權ヲ有セシメズ小委員會ノ審議ニ列席セシムルコトヲ得
- (五) 小委員會ノ決議ハ三名ノ委員全部ノ協力ノ下ニ且全員一致ヲ以テ之ヲ爲スベキモノトス
- (六) 決議ハ加入運輸機關及交通委員會ニ之ヲ報告ス、決議ハ運輸機關側ヨリ四週間以内ニ有效ナル異議ノ申立ナキトキ(第十五條及第十六條)又ハ交通委員會ガ異議ヲ申出ザル場合ニ拘束力ヲ生ズ
- (七) 決議ガ成立セザルトキ又ハ有效ナル異議ノ申立アリタルトキハ當該事項ハ總會ニテ賃率規則ノ解釋ニ關スル討議竝ニ決定ニ附ス本決議ニ關シテハ第十四條乃至第十七條及第十九條ノ規定ヲ適用ス
- (八) 拘束力ヲ生ジタル決議ハ主務管理局ノ刊行スル決議集ニ採録ス

一九一九年八月十一日發布

獨逸國憲法

第九十三條

獨逸國政府 (Reichsregierung) ハ鐵道運輸及賃率規則ニ關スル事項ノ審議ニ協同セシムル  
 タメ獨逸國參議院 (Reichsrat) ノ同意ヲ得テ國有鐵道ノ爲ニ審査會 (Repräsentation) ヲ設置ス

獨逸國有鐵道ノ爲ノ審査會ニ關スル命令

一九二二年四月二十四日公布

(一九二二年四月三十日附獨逸國法律公報第二篇第三號)

一九一九年八月十一日發布ノ獨逸國憲法第九十三條ニ據リ(獨逸國法律公報一三八三頁以降  
參照)獨逸國參議院ノ同意ヲ得テ左ノ通り規定ス

一、總 則

第一條

獨逸國有鐵道ノ運輸及賃率規則ニ關スル事項ノ審議ニ協同セシムルタメ地方鐵道審査會及獨  
逸國鐵道審査會ヲ設置ス

二、地方鐵道審査會 (Landeseisenbahnräte)

第二條

地方鐵道審査會ハベルリン、ブレスラウ、ドレスデン、エルフルト、フランクフルト（マイ  
ン）、ハレ（ザール）、ハンブルグ、ハノーヴァー、カルルスルーヘ、ケルン、ケーニヒスベル  
ク、ミュンヘン、スツットガルトヲ住所トシテ之ヲ設置ス、地方鐵道審査會ノ名稱ニハ其ノ住  
所ノ地名ヲ附ス、其ノ管轄區域ハ附屬書ニ之ヲ定ム

### 第三條

地方鐵道審査會ハ運輸及賃率規則ニ關スル重要ニシテ且當該管轄區域ノ全部又ハ一部ノ利害  
關係ニ係ル問題ニ付獨逸國有鐵道ニ對シ意見ヲ提出スル任務ヲ有ス、殊ニ賃率規則、發著業務  
並配車業務ニ關スル規定及運轉時刻表ノ重要ナル改正及新線ノ交通上ニ於ケル價值ニ關シ地方  
鐵道審査會ノ意見ヲ徵スルモノトス

地方鐵道審査會ハ右ノ事項ニ關シ自ラ國有鐵道當局ニ對シ申請及質問ヲ爲スコトヲ得  
特ニ緊急ヲ要スルタメ豫メ地方鐵道審査會ノ意見ヲ徵スルコト能ハザル例外ノ場合ニ於テハ  
講ゼラレタル措置ニ付地方鐵道審査會ニ對シテ次回ノ會議ニ際シ通告スルコトヲ要ス

### 第四條

各地方鐵道審査會ノ構成ニ付テハ各別ニ附屬書ニ之ヲ規定ス

地方鐵道審査會ノ委員ノ一部ハ選舉ニヨリ一部ハ指名ニヨリ之ヲ任命ス、選舉ニヨル委員ハ  
左ノ機關之ヲ選出ス

(イ) 公法人タル經濟團體（商業會議所、商工會議所、其ノ聯合會、產業會議所（Gewerbe-  
kammer）、手工業會議所、農林業會議所等）

(ロ) 被傭者（勞働者、事務員、官吏）ノ勞働團體

地方鐵道審査會ノ委員ヲ任命スル權能ハ加入獨逸支分邦（deutsche Länder）ノ政府ニ屬  
ス、右ノ支分邦政府ハ公法人タル農業及林業關係ノ經濟團體ニ附屬書（第七欄）ニ定ムルトコ  
ロニヨリ屬スル委員席數ノ三分ノ一迄ヲ委員ノ任期ノ終期迄ニ付農業及林業關係ノ自由團體ニ  
對シ讓渡スルコトヲ得

地方鐵道審査會ニハ通則トシテ國內水運ノ代表者一名ヲ參加セシムベシ

第五條

三四

附屬書ニ定ムルトコロニヨリ公法人タル多數ノ經濟團體ニ多數ノ委員割當テラレタルトキハ支分邦政府ハ右ノ多數ノ團體ノ執レガ各自ニ付委員一名又ハ數名ヲ選出スベキヤヲ定ム、多數ノ支分邦政府加入セルトキハ右ノ諸政府ハ相互ニ諒解ヲ得タル後之カ決定ヲナスモノトス  
公法人タル個々ノ經濟團體ニヨリテノミ選出セラルル委員ノ選舉方法ハ右ノ團體ノ定ムルトコロニヨル

公法人タル多數ノ經濟團體ガ共同シテ委員一名又ハ數名ヲ選舉スベキ場合ニ於テ選舉ニ關シ相互ニ諒解ヲ得ルコト能ハザルトキハ選舉ハ選舉長主宰ノ下ニ右ノ諸團體ノ代表者之ヲ行フモノトス、選舉長ハ一團體ヨリノ申請ニヨリ支分邦政府（多數ノ支分邦加入セルトキハ其ノ諸政府相互ノ諒解ヲ得テ）之ヲ任命ス、右ト同時ニ各團體ニ與ヘラルル表決權數ヲ定ム、選舉長ハ選舉ヲ施行スル場所及日時ヲ定ム、選舉ハ單純ナル過半數ヲ以テ當選人ヲ決定ス、得點ノ同數ナルトキハ抽籤ヲ以テ當選人ヲ決定ス、代理人ヲ選舉スル場合ニ於テハ委員ヲ出サザル團體ヲ

第一ニ顧慮スベキモノトス

被傭者ノ勞働團體ニヨリ選舉セラルベキ委員ハ中央勞働組合ノ幹部會之ヲ選出ス、勞働團體ハ選舉ノ方法及各勞働團體ニ割當テラルル委員數ニ付相互ニ諒解ヲ得ルモノトス、交通大臣ハ如何ナル組合ヲ本規定ノ意義ニ於ケル中央勞働組合トナスベキヤニ付獨逸國經濟審議會 (Reichswirtschaftsrat) ノ意見ヲ聽取シテ之ヲ決定ス

委員ノ任命權ガ多數ノ支分邦ニ共同的ニ所屬スルトキハ附屬書ニ於テ各々首位ニ掲ゲラレタル支分邦ノ政府他ノ加入支分邦ノ政府ノ諒解ヲ得テ右ノ任命權ヲ行使ス

第一項、第三項及第五項ノ場合ニ於テ支分邦間ニ必要ナル諒解成立セザルトキハ獨逸國參議院之ヲ決定ス

委員タルコトノ有效ナルヤ否ヤニ付テハ地方鐵道審查會自ラ之ヲ檢スルモノトス

第六條

地方鐵道審查會ノ事務ヲ管理スル國有鐵道ノ部署（事務管理國有鐵道局）ハ附屬書ニ之ヲ定

三五

ム、右ノ部署ノ幹部又ハ其ノ代理人ハ議事日程ヲ通知シテ委員ヲ會議ニ招集シ其ノ議長トナリ會議議事録ヲ確認ス、右ノ者ハ必要ニ應ジ國有鐵道ノ職員ヲ會議ニ招致シ又他ノ鐵道ノ代表者國 (Reich) 並支分邦ノ他ノ官廳ノ代表者及専門家ヲ會議ニ招請スルコトヲ得

第七條

地方鐵道審査會ハ每年少クトモ二回會議ヲ招集スベシ、會議ハ其ノ開催方ヲ三分ノ一以上ノ委員ガ事務管理國有鐵道局ニ提議シタルトキ之ヲ招集スルモノトス、會議ハ地方鐵道審査會ノ同意ヲ得テ地方鐵道審査會ノ住所以外ノ場所ニ於テモ之ヲ開催スルコトヲ得

議事日程ハ委員及代理人ニ會議開催日ノ十四日前迄ニ通知スベシ、委員ハ議事日程追加ノ申請ヲ會議開催日ノ七日前迄ニ事務管理國有鐵道局ニ提出スルコトヲ得、右ノ申請ハ三分ノ一以上ノ委員ニヨリ提出セラレタルトキ之ヲ受理スベキモノトス

會議出席ニ支障アル委員ハ其ノ旨事務管理國有鐵道局及該委員ノ代理人ニ遲滞ナク通知スベシ、右ノ場合ニ於テハ事務管理國有鐵道局ハ議事日程ヲ通知シテ代理人ヲ招集ス

第八條

地方鐵道審査會ハ其ノ審議ノ準備ノタメ及緊急ヲ要スル事項ヲ處理スル爲ニ其ノ委員ヲ以テ構成スル一ノ常設委員會ヲ設置スルコトヲ得

第九條

地方鐵道審査會ハ其ノ決議ヲ單純ナル多數決ヲ以テ爲ス、賛否同數ナルトキハ申請ハ棄却セラレタルモノト之ヲ看做ス

各會議ニ付テハ其ノ審議ノ經過及地方鐵道審査會ノ決議ヲ記録セル議事録ヲ作成スベシ、少數派ヨリ要請アリタルトキハ其ノ意見ヲモ議事録ニ記録スベシ

其ノ他ノ事務ノ處理ニ付テハ地方鐵道審査會ニ於テ草案ヲ作成シ且交通大臣ノ認可ヲ受クル業務規程ニヨリ之ヲ定ム

三、獨逸國鐵道審査會 (Reichseisenbahnrat)

第十條

獨逸國鐵道審查會ハ運輸及賃率規則ニ關スル重要ニシテ且獨逸全國ノ利害關係ニ係ル問題ニ付獨逸國有鐵道ニ對シ意見ヲ提出スル任務ヲ有ス

獨逸國鐵道審查會ハ右ノ問題ニ關シ國有鐵道當局ニ對シテ申請及質問ヲ爲スコトヲ得

第十一條

獨逸國鐵道審查會ハ左ノ者ヲ以テ之ヲ構成ス

- (イ) 大統領ニヨリ任命セラル、議長一名及其ノ代理人
- (ロ) 地方鐵道審查會ニヨリ選出セラルル委員五十名
- (ハ) 獨逸國經濟審議會ニヨリ任命セラルル委員二十名

第十二條

ハノーヴァー、ケルン及ミュンヘン地方鐵道審查會ハ各五名、ベルリン、ブレスラウ、ドレステン、フランクフルト(マイン)及ハンブルク地方鐵道審查會ハ各四名、エルフルト、ハレ(ザーレ)、カルルスルーへ、ケーニヒスベルグ及スツツトガルト地方鐵道審查會ハ各三名ノ委

員ヲ獨逸國鐵道審查會ニ選出ス、一地方鐵道審查會ニヨリ選出セラルル委員ハ各一名宛其ノ選出セラルル地方鐵道審查會ノ管轄区域内ニ於テ工業及産業界、商業及水運界及農林業界ニ所屬スルモノタルベシ、各地方鐵道審查會ニヨリ選出セラルル委員ハ少クトモ一名雇傭主又少クトモ一名被傭者タルコトヲ要ス、選舉ハ地方鐵道審查會ノ會議ニ於テ之ヲ行フ

第一項ニヨル選舉終了後獨逸國經濟審議會ハ其ノ任命スベキ獨逸國鐵道審查會委員ヲ任命ス、右ノ委員ノ中ニハ私設鐵道、國內水運、海運、手工業及鑛山業界ノ雇傭主及被傭者ノ代表者各一名アルコトヲ要ス

委員タルコトノ有效ナルヤ否ヤニ付テハ獨逸國鐵道審查會自ラ之ヲ檢スルモノトス

第十三條

交通大臣ハ獨逸國鐵道審查會ノ會議ヲ必要ニ應ジ通則トシテ毎年二回招集ス、本項ノ場合ニ付テハ第七條第二項及第三項ヲ準用ス

交通大臣ハ會議ニ國有鐵道ノ職員ヲ招致シ又其ノ他ノ専門家及他ノ鐵道竝ニ他ノ獨逸國官廳

ノ代表者ヲ招請スルコトヲ得

獨逸國鐵道審査會ハ其ノ決議ヲ單純ナル多數決ヲ以テ爲ス、議長モ表決權ヲ有シ可否同數ナルトキハ其ノ表決之ヲ決ス、第二項ニヨリ招集セラレタル出席者ハ表決ニ參加セズ  
獨逸國鐵道審査會ノ業務規程ハ交通大臣獨逸國鐵道審査會ノ同意ヲ得テ之ヲ作成ス

#### 第十四條

獨逸國鐵道審査會ハ其ノ委員ヲ以テ構成スル一ノ常設委員會ヲ設置ス、右ノ常設委員會ハ獨逸國鐵道審査會ノ議長又ハ其ノ代理人ヲ議長トシ獨逸國鐵道審査會ニヨリ其ノ業務規程ニヨリ定ムベキ員數ニ於テ選出セラルル委員ヲ以テ之ヲ構成ス

常設委員會ハ緊急ヲ要スル事項ヲ處理シ又獨逸國鐵道審査會會議ノ議事日程ノ重要事項ニ付豫メ審議ヲ爲スヲ其ノ任務トス、常設委員會ハ交通大臣ノ提議ニヨリ常設委員會ノ議長之ヲ召集ス、常設委員會ハ其ノ議長主宰ノ下ニ審議ヲ爲ス、交通大臣ハ會議開催日ノ遅クモ二日前迄ニ議長ヨリ議事日程ヲ受領ス、交通大臣ハ會議ニ其ノ代理人ヲ出席セシムルコトヲ得、常設委

員會ハ其ノ決議ヲ單純ナル多數決ヲ以テ爲ス、議長モ表決權ヲ有シ可否同數ナルトキハ其ノ表決之ヲ決ス

常設委員會ハ獨逸國鐵道審査會ノ招集ヲ要求スルコトヲ得

交通大臣ハ適當ナル場合ニ於テハ回章ニヨル質問書ヲ以テ常設委員會ニ對シ諮問ヲ爲スコトヲ得

#### 第十五條

獨逸國鐵道審査會又ハ常設委員會ノ必要ト認ムル豫メノ調査ハ交通大臣之ヲ發企ス

### 四、共通ノ規定

#### 第十六條

鐵道審査會ノ選舉セラルル委員並任命セラルル委員及獨逸國鐵道審査會ノ議長ハ各三年ノ任期ヲ以テ選舉又ハ任命セラレ再選及再任セラルルコトヲ得、選舉セラレタル各委員ニ付テハ同時ニ一名ノ代理人ヲ選舉シ任命セラレタル各委員ニ付テハ同時ニ一名ノ代理人ヲ任命スベシ、



委員（又ハ代理人）タル資格ハ委員（又ハ代理人）ガ公職ニ就ク資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ財産ニ付破産手續ノ開始セラレタルトキ消滅ス、委員ガ任期ノ滿了前ニ死亡シ又ハ委員タル資格ノ拋棄若ハ消滅ニヨリ退會シタルトキハ任期ノ殘餘ノ期間ニ付代理人之ニ代ルモノトス、代理人ガ委員トナリタルトキ又ハ退會シタルトキハ新ニ代理人ヲ選舉又ハ任命スベシ

獨逸國有鐵道監理委員會委員及國有鐵道職員ハ地方鐵道審查會又ハ獨逸國鐵道審查會ノ委員ニ選舉又ハ任命セラルルコトヲ得ズ、獨逸國議會（Reichstag）ニ付被選舉權ヲ有スル其ノ他ノ獨逸人民ハ何人タリト雖モ地方鐵道審查會又ハ獨逸國鐵道審查會ノ委員ニ選舉又ハ任命セラルルコトヲ得

## 第十七條

地方鐵道審查會ノ委員及代理人ノ選舉及任命ハ事務管理國有鐵道局ノ要請ニヨリ之ヲ行フ、右ノ要請ハ第五條第一項ノ場合ニ於テハ加入支分邦政府ニ對シ又第五條第四項ノ場合ニ於テハ中央勞働組合ノ幹部會ニ對シ之ヲ爲スモノトス、選舉ノ結果及任命ニ付テハ事務管理國有鐵道

局ニ之ヲ通知スベシ

獨逸國經濟審議會（第十一條（ハ））ニヨリ任命ハ交通大臣ノ要請ニヨリテ行ハルルモノトス  
選舉ノ結果又ハ任命ニ關スル通知ガ要請ヲ爲セル部署ニ二箇月以内ニ到著セザルトキハ交通大臣ニ於テ委員及代理人ヲ任命ス

## 第十八條

國有鐵道當局ハ地方鐵道審查會及獨逸國鐵道審查會ノ決議ヲ可及的顧慮スルモノトス、顧慮スルコト能ハザルトキハ地方鐵道審查會及獨逸國鐵道審查會ニ其ノ理由ヲ通知スベシ

## 第十九條

獨逸國鐵道審查會及地方鐵道審查會ノ委員及其ノ代理人ハ會議（委員會會議ヲ含ム）開催地ヘノ往復ニ付獨逸國有鐵道ノ區間ヲ無賃ニテ乗車スルコトヲ得又會議出席ノ爲ニ要シタル其ノ費用ニ付交通大臣ニヨリ定メラルル補償ヲ受クルモノトス

## 第二十條

支分邦政府ハ獨逸國鐵道審査會ノ會議ニ又支分邦政府ガ附屬書ニ定ムルトコロニヨリ委員ノ任命ニヨリテ地方鐵道審査會ニ加入セルトキハ其ノ會議ニモ及委員會會議ニ代表者ヲ出席セシムル權利ヲ有ス、右ノ代表者ハ表決權ヲ有セズ、但シ右ノ代表者ハ議事日程ノ各事項ニ付其ノ意見ヲ開陳シ右ニ付提議及質疑ヲ爲シ又右ニ關シ決議ヲ爲サシムル權利ヲ有ス

國有鐵道當局ハ加入政府ニ對シ議事日程ヲ送附シテ各會議（委員會會議ヲ含ム）ニ付遲滯ナク通知スベシ

支分邦ガ附屬書ニ定ムルトコロニヨリ委員ノ任命ニヨリテ地方鐵道審査會ニ加入セルトキハ獨逸國有鐵道ハ右ノ支分邦ノ代表者一名ニ對シ地方鐵道審査會及其ノ委員會ノ會議開催地ヘノ往復ニ付無賃乗車ノ權利ヲ賦與ス

第二十一條

本令ハ一九二二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス、右期日ヨリ鐵道審議會ニ關スル支分邦ノ規則ハ之ヲ廢止ス

本令ニヨル第一回ノ選舉ニ際シテハ交通大臣ハ選舉ノ結果及任命ニ關スル通知ヲ爲スベキ期間（第十七條第三項）ヲ短縮スルコトヲ得、選舉又ハ任命ヲ行フベキ要請アリタルトキハ（第十七條第一項）右ノ短縮セル期間ヲ通知スベシ

ベルリン一九二二年四月二十四日

獨逸國政府

パウエル

本令第四條第一項附屬書拔萃

(ベルリン地方鐵道審査會關係ノ事項ノミヲ掲グ)

地方鐵道審査會ハ左ニヨリ之ヲ設置ス(本令第二條)

ベルリンヲ住所トスル地方鐵道審査會

其ノ管轄區域ハ國有鐵道ベルリン及ステツチン鐵道局ノ管轄區域トス

事務管理者ハ國有鐵道ベルリン鐵道局トス

地方鐵道審査會ハ左ノ委員ヲ以テ之ヲ構成ス

左ノ如ク支分邦政府ノ任命セル委員

プロイセン政府.....十一名

メックレンブルク||シュトレーリツツ政府.....一名

合計 十二名

左ノ地ニ於ケル商業會議所、商工會議所及其ノ聯合會ニヨリ左ノ如ク選舉セラレタル委員

ベルリン、ブランデンブルク、フランクフルト(オーデル)、ステツチン、シュトラールズント、北獨逸商工會議所聯合會、マークデブルク・ハルベルシュタット商工會議所聯合會.....小計 十三名  
ロシュトツク.....一名

合計 十四名

ベルリン、ステツチン、シュトラールズント手工業會議所(産業會議所)ノ選舉セル委員.....小計 二名  
ベルリン、シュナイデミュール及ステツチンニ於ケル農業會議所、郡農會、郡農業組合等ノ選舉セル委員.....小計 八名  
被傭者ノ勞働團體ノ選舉セル委員.....十二名

委員總數 四十八名

國有鐵道ベルリン鐵道局及ステツチン鐵道局ノ管轄區域  
ニ付設置セラレタルベルリン地方鐵道審査會ノ業務規程

第一條

本地方鐵道審査會ノ招集

本地方鐵道審査會ハ其ノ議長之ヲ招集ス、通常會議ハ通則トシテ毎年二回三月及九月ニ之ヲ  
開催ス

臨時會議ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開催ス

- 一、委員ノ三分ノ一以上ニヨリ要請セラレタルトキ
  - 二、委員會ノ委員ノ四分ノ三以上ニヨリ要請セラレタルトキ
  - 三、本地方鐵道審査會ノ議長ガ必要ト認メタルトキ
- 會議開催地ハベルリントス、但シ前回ノ會議ニ於テ他ノ地ニ開催スル旨定メタルトキハ此限

リニ在ラズ

五〇

### 第二條

#### 會議出席者

本地方鐵道審査會ニハ左ノ者出席ス

- 一、本地方鐵道審査會ノ委員
  - 二、國有鐵道ベルリン鐵道局及ステツチン鐵道局ノ代表者
- 交通省及國有鐵道管理本部ノ代表者ハ自由ニ會議ニ出席スルコトヲ得
- 本地方鐵道審査會ノ議長ハ必要ニ應ジ會議ニ

- 一、國有鐵道ノ職員ヲ招致シ
  - 二、其ノ他ノ鐵道及國竝支分邦ノ其ノ他ノ官廳ノ代表者及專門家ヲ招請スルコトヲ得
- 會議出席ニ支障アル本地方鐵道審査會ノ委員ハ其ノ旨遲滯ナク議長及當該委員代理人ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ議長ハ代理人ヲ招請ス、代理人ハ委員ト同等ノ權利ヲ以テ會議ニ出席スルモノトス

### 第三條

#### 議事日程

本地方鐵道審査會ノ議長ハ本地方鐵道審査會ノ各會議ニ付議事日程ヲ作成シ之ヲ出席者ニ通則トシテ招請狀ト共ニ送達ス、議事日程ハ代理人ニモ之ヲ通知ス

議事日程ニハ左ノ事項ヲ上程スベシ

- 一、國有鐵道ノ提出セル議案
  - 二、委員ノ提出セル申請、但シ國有鐵道ノ爲ノ審査會ニ關スル命令第七條第二項ニヨリ本地方鐵道審査會ノ議長ニ對シ遲滯ナク提出セラレタル申請ニ限ル
- 特ニ緊急ヲ要スル事項ハ議長之ヲ議事日程以外ニ於テ討議ニ附スルコトヲ得

### 第四條

五一

### 審議ノ主宰

本地方鐵道審査會ノ會議ニ於ケル議長ハ事務管理國有鐵道局ノ局長トス、右ノ者ニ支障アルトキハステツチン鐵道局長ヲ議長トス、右ノ者ニモ支障アルトキハ前者ニヨリ指名セラレタル代理人審議ヲ主宰ス

審議ノ主宰ニ付議長ヲ補佐セシムルタメ各會議ニ於テ本地方鐵道審査會ノ委員ノ中ヨリ本地方鐵道審査會ニ於テ副議長一名ヲ選舉シ議長ニ於テ副議長一名ヲ指名ス、議長及副議長ハ會議事務所ヲ構成ス、事務管理國有鐵道局ハ其ノ職員ヲ會議事務所ニ書記トシテ配屬セシム

### 第五條

#### 審議ノ順序

各議事ノ審議ノ順序ハ議事日程ニ定ムルトコロニヨル、但シ特ニ議事日程ニヨラザルコトヲ決議セル場合ニ於テハ此限リニ在ラズ、議長ニヨリ特ニ緊急事項トシテ指定セラレタル議事ノ審議ハ之ヲ先ニ爲スベシ

議長審議ノ開始ヲ宣シタル後左ノ者ニ發言ヲ許スモノトス

國有鐵道ヨリ提出セラレタル議案アリタルトキハ先ヅ其ノ報告者

本地方鐵道審査會ノ委員ヨリ提出セラレタル申請ニシテ委員會ニ於テ審査セラレタルモノニ付テハ委員會ノ報告者

及實體上ノ申請 (sachliche Anträge) ニ付テハ當該申請提出者

結語ハ右ニ從ヒ報告者又ハ申請提出者之ヲ陳述ス其ノ他ノ場合ニ於テハ發言者ノ發言ノ順序ハ其ノ通告順ニヨル、但シ國有鐵道ノ代表者ハ其ノ要求ニヨリ何時タリトモ發言スルコトヲ得ルモノトス

議事日程ニ關スル動議又ハ審議ノ延期及終了ニ關スル動議ニ付テモ何時タリトモ發言ヲ許スモノトス

實體上ノ申請ハ常ニ書面ヲ以テ之ヲ提出スベシ

### 第六條

#### 表 決

本地方鐵道審查會ハ國有鐵道ガ本地方鐵道審查會ニ提出セル議案及本地方鐵道審查會ノ委員ヨリ提出セラレタル申請ニ付表決ヲ行フモノトス

議題ハ議長之ヲ提出ス、議題ノ提出ニ對シ會議出席者ノ中ヨリ異議アリタルトキハ本地方鐵道審查會其ノ可否ヲ決ス

本地方鐵道審查會ニ加入セル一國有鐵道局ニヨリ又本地方鐵道審查會ノ委員ノ過半數ニヨリ要請セラレタルトキハ記名投票ヲ行フベシ

本地方鐵道審查會ハ委員ノ少クトモ半數ガ出席セル場合ニ於テノミ有效ナル決議ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第七條

議事錄

各會議ニ付テハ議長ガ會議事務所ト協力ノ下ニ確認シ且議長及副議長(第四條)ニヨリ署名セラレベキ議事錄ヲ作成スベシ、議事錄ニハ出席者ノ氏名、審議ノ經過ノ概要及申請並決議ノ

本文ヲ記載スルコトヲ要ス

議事錄ノ印刷及本地方鐵道審查會ノ委員並其ノ代理人、他ノ加入鐵道及國並支分邦ノ他ノ加入官廳ニ對スル議事錄ノ配付ハ議長之ヲ發企ス

第八條

獨逸國鐵道審查會ノ委員ノ選舉

獨逸國鐵道審查會ニ選出セラレベキ委員ハ其ノ指名ニヨル選舉ガ全員一致ヲ以テ是認セラレザル限り投票ニヨリテ之ヲ選舉ス、形式ノ不備ナル投票ハ之ヲ無効トス、投票セラレタル投票用紙ノ蒐集並檢査及表決ノ結果ノ綜合ハ會議事務所之ヲ行フ

當選人ハ絶對多數ノ得點ヲ得タル者トス、絶對多數ノ得點ヲ得タル者ナキ場合ニ於テハ其ノ最初ノ選舉ニ於テ最モ多數ノ得點ヲ得タル二名ノ者ニ付更ニ選舉ヲ行フ、右ノ場合ニ於テ過半數ノ得點ヲ得タル者ナキトキハ抽籤ニヨリテ當選人ヲ定ム

選舉ニハ雇傭主及被傭者ヲ交互ニ各一名宛選舉ス、右ノ兩者ノ中孰レヲ先ニ選舉スルヤニ付

テハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第九條

常設委員會

本地方鐵道審査會ハ其ノ審議ノ準備ヲ爲サシムルタメ其ノ委員ノ中ノ十三名及同數ノ代理人ヨリ成ル常設委員會ヲ設置ス、右ノ委員會ハ支分邦政府ニヨリ任命セラレタル委員ノ中ノ三名、商業會議所、農業會議所及被傭者ノ勞働團體ニヨリ選舉セラレタル委員ノ中ノ各三名宛及手工業會議所ニヨリ選舉セラレタル委員ノ中ノ一名ヲ以テ之ヲ構成ス、右ト同數ノ代理人ヲモ選舉スベシ

第十條

常設委員會ノ會議

常設委員會ハ本地方鐵道審査會ノ議長ニヨリ必要ニ應ジ招集セラルルモノトス  
本委員會ノ委員ハ會議出席ニ支障アル場合ニ於テハ其ノ旨議長及當該委員ノ代理人ニ遲滯ナ

ク通知スベシ、右ノ場合ニ於テハ議長ハ當該代理人ヲ招集ス、代理人ハ委員ト同等ノ權利ヲ以テ會議ニ出席スルモノトス

議長ハ常設委員會ニ於ケル審議ニ付加入國有鐵道局ノ代表者ノ外ニ他ノ鐵道又ハ國及支分邦ノ他ノ官廳ノ代表者ヲモ招請スルコトヲ得

申請者ガ本委員會ノ委員ニアラザル場合ニ於テハ議長ハ右ノ申請者ニ對シ本委員會ノ會議ニ於ケル其ノ申請ノ處理ニ關シテ表決權ヲ有セズシテ會議ニ出席スルコトヲ許容スルコトニヨリ知ラシムルモノトス

第十一條

議事日程

本地方鐵道審査會ノ議長ハ常設委員會ノ委員ニ對シ會議開催日ノ七日前迄ニ議事日程ヲ通知スベシ、議事日程ニハ國有鐵道ノ提出セル議案ノ外本地方鐵道審査會ノ次回會議ニ於テ審議セラルル爲通告セラレタル一切ノ申請ヲ上程スベシ



審議ノ主宰

常設委員會ニ於ケル審議ノ主宰ハ第四條ノ規定ニ準據シテ之ヲ行フ

常設委員會ニ於ケル議事ノ處理ノ方式及決議ノ採擇ニ付テハ本地方鐵道審査會ノ會議ニ關スル第五條及第六條ノ規定ヲ準用ス

常設委員會ハ適當ナル場合ニ於テハ其ノ審議ニ付專門家ヲ諮問ノタメ招致スルコトヲ得

報告

常設委員會ハ其ノ決議ヲ本地方鐵道審査會ノ當該會議ニ於テ代表セシムルタメ(第五條)各審議事項ニ付一名ノ報告者ヲ定ム

常設委員會ノ會議ニ關スル議事録

常設委員會ノ各會議ニ付テハ其ノ都度議事録ヲ作成スベシ、右ノ議事録ニハ出席者ノ氏名、審議ノ概要及提出セラレタル申請竝採擇セラレタル決議ノ本文ヲ記載スルコトヲ要ス、議事録ハ其ノ都度人選セラルル本委員會ノ一名ノ委員及議長ニヨリ人選セラルル事務管理國有鐵道局ノ一名ノ職員之ヲ確認シ且議長及副議長之ニ署名ス

議事録ノ印刷及其ノ第七條ニ掲グル委員、鐵道及官廳ニ對スル配布ハ議長之ヲ處理ス

—(完)—

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in several lines and is difficult to decipher due to its low contrast and blurriness.

